

筑豊小児科医会会報

Vol. 205 2024.2



Contents

- ◇ 今月のトピックス（漢方診療科 部長 井上博喜）
- ◇ 研修医のご紹介
- ◇ 小児科関連勉強会のご案内
- ◇ 飯塚病院 月間診療のまとめ《2023年11月》
- ◇ AI-CAP 通信
- ◇ Pediatrics note（小児科 診療部長 大矢崇志）

発行：飯塚病院小児センター（飯塚市芳雄町 3-83）
（代表）TEL：0948-22-3800

今月のトピックス（漢方診療科 部長 井上博喜）

飯塚病院 漢方診療科は平成4年に開設され、今年で32年目を迎えました。当科は漢方エキス製剤だけでなく煎じ薬も用いて、外来から入院まで診ている日本でも稀な診療部門です。

さて漢方には五臓（肝・心・脾・肺・腎）という考え方があります。西洋医学の臓器と名称は同じですが、その実態は全く別物になります。小児では、心・肝が余りがちで脾・肺・腎が常に不足気味（二余(にあまり)三不足(さんふそく)) という特徴があります。心が余ると発熱して痙攣・意識障害を



来しやすくなり、肝が余ると興奮しやすく精神的に不安定になります。脾や肺が不足すると消化機能・呼吸機能が未熟で機能不全に陥りやすく、腎が不足すると生命力が弱く発育・発達に支障を来しやすくなります。

現代に当てはめると、心の余りは「インフルエンザなどの急性感染症」「機能性高体温症」「扁桃炎、中耳炎などの反復感染」に、肝の余りは「興奮・怒り・落ち着きのなさ」「夜泣き」「チック」に当たります。脾の不足は「ウイルス性胃腸炎」「過敏性腸症候群」「食の細さ・疲れやすさ」に、肺の不足は「アレルギー性鼻炎」「慢性副鼻腔炎」「気管支喘息」に、腎の不足は「発育不良」「夜尿症」に当たります。

その他の小児の特徴として、水分代謝の問題である「水毒」が起こりやすく、「頭痛」「めまい」「起立性調節障害」でお困りの患者さんを当科に紹介いただくことも増えてきました。

上記のような疾患や症状で精査しても原因が特定されない場合は、当科にご紹介ください。

(参考文献) 日本東洋医学会：漢方医学大全. 静風社 東京, 2022

研修医のご紹介

● 外科 専攻医3年目 ふるかわめぐみ 古川恵瑞

外科専攻医の古川恵瑞です。

2023年12月より小児外科をローテーションさせて頂いています。

4ヶ月間の短い期間ですがよろしくお願い致します。



● 産婦人科 専攻医3年目 あべなおき 安部直希

産婦人科専攻医3年目の安部直希と申します。

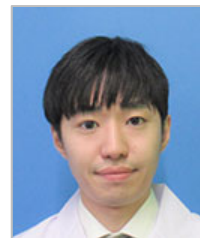
3ヶ月間NICUで研修させていただきます。よろしく申し上げます。



● 初期研修医 1年目 ^{いとう しゅん}伊藤 駿

初期研修医 1年目の伊藤駿と申します。6週間ローテートさせていただきます。

愛知県名古屋出身、大学時代は沖縄で6年間過ごし、初期研修ではじめて福岡県にきました。小児科研修では小児特有の疾患への対応、今後の成長を意識した治療、ご家族との関わり方など学びたいことが多くあります。少しでも貢献できるよう取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



● 初期研修医 1年目 ^{むらなかみずき}村中瑞旗

初期研修医 1年の村中瑞旗と申します。地元も大学も熊本で、部活は硬式テニスをしていました。

1月22日よりローテーションさせていただいています。小児特有の疾患や診療時の触れ合い方など高齢者とはまた違った視点や研修ができることを楽しみにしています。6週間と短い期間ですが、精一杯勉強させていただきたいと思っております。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



小児科関連勉強会のご案内

■ 子どもの虐待防止講演会

- 日 時：2024年2月12日（月）

受付) 12:30～ 講演) 13:30～15:30

- 会 場：飯塚市文化会館 イイツカコスモスコモン 中ホール

「混乱するしつけ」～体罰としつけをめぐる～

山梨県立大学人間福祉学部 特任教授 西澤 哲先生

* 詳細につきましては案内状をご確認ください。

■ 子どもの発育セミナー in 筑豊（第354回 筑豊小児科医会勉強会）

- 日 時：2024年2月26日（月）18:30～19:30

- 形 式：ハイブリッド開催

- 現地会場：のがみプレジデントホテル

教育現場からの報告 18:30～19:00

「保健室からみた子どもの現状と課題～日々の関わりを通して～」

嘉麻市立牛隈小学校 深田実哉子先生 / 嘉麻市立稲築東義務教育学校 齊藤久子先生

講演 19:00～19:30

「思春期の心と身体の発育」

福岡大学 医学部小児科 准教授/飯塚病院 小児科 八ツ賀秀一先生

* 詳細につきましては案内状をご確認ください。

■ 第355回 筑豊小児科医会勉強会

- 日 程：2024年3月14日（木）

飯塚病院 月間診療のまとめ 《2023年11月》

●入院患者数 112人 ●外来患者数 1,075人 ●救命救急センター受診者数 243人

●新生児センター入院患者数 14人 ●分娩件数 30件 ●手術件数 7件

●主要疾患数（退院患者数：92人）

痙攣及びてんかん	15	低出生体重児	9	肺炎・気管支炎	8
急性上気道感染症	6	急性胃腸炎	5	新生児呼吸障害・心血管障害	5
喘息	4	髄膜炎	1	高ビリルビン血症及び黄疸	1
腸重積・腸閉塞	1	その他	37		

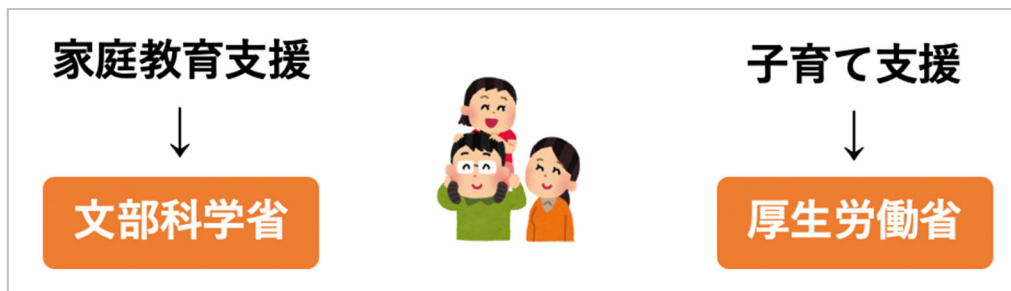
●11月紹介件数

小児科：123件			小児外科：20件		
①	こどもクリニックもりた	9	①	くわの内科・小児科医院	3
	平野医院			田川市立病院	
③	ひじい小児科クリニック	6	③	社会保険田川病院	2
	弥永内科小児科医院			松尾ファミリークリニック	
⑤	飯塚急患センター	5	⑤	荒木小児科医院（田川）	1
	いいつかこども診療所			有松病院	
	ささきこどもクリニック			潁田病院	
	社会保険田川病院			くらたクリニック	
	すどうクリニック			栗原小児科内科クリニック	
	松尾ファミリークリニック			こどもクリニックもりた 他4件	

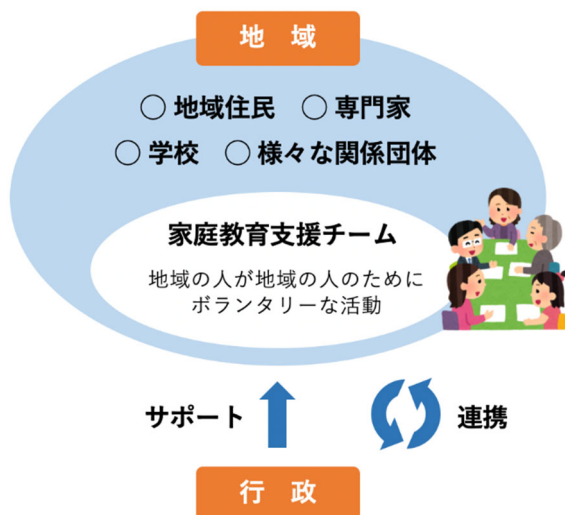
家庭教育支援とは

1月12日、田川郡社会教育振興協議会で「地域における子ども達の生活環境」について、お話しさせていただきました。少子高齢化が進み、核家族化や地域社会のつながりの希薄化など、家庭及び地域を取り巻く環境が変化し、子育て家庭の社会的孤立が指摘されています。

家庭教育支援は、子育て支援と異なり、保護者の家庭教育力を高めることに主眼を置いており、保護者の学びを支援する領域とも言えます。



子育て家庭の社会的孤立は、子どもの健やかな成長・発達にも影響を及ぼす深刻な問題であり、家庭教育支援の重要性がますます高まっています。家庭は全ての教育の出発点として、行政と地域住民、民間団体などが連携して、家庭教育の支援活動を行っています。



小児虐待防止委員会 委員長 田中 祥一郎

<AI-CAP 事務局へのお問い合わせ> TEL : 0948-88-8220 (直通) FAX : 0948-88-2806

Pediatrics note (小児科 診療部長 大矢崇志)

学校や家庭で感情の調節がうまくできず、周囲とのトラブルを繰り返してしまい僕の外来を受診する子どもたちがいます。彼らの多くは「発達障害」かもしれないと心配されて紹介となります。

発達障害には注意欠如多動症（ADHD）や自閉スペクトラム症などがありますが、子どもたちは注意力や興味のばらつきが大きかったり、コミュニケーションの力を身につけづらかったりするため、結果として社会にうまく馴染めないということが起こります。中には感情の調節がうまくできない子もいますが、イコール「発達障害」ではありません。

私たち大人でもそうですが、感情が昂り周囲に当たるのは多くの場合、強いストレスを感じている時です。子どもたちでも同じですし、発達障害があっても同じです。話をよく聴くと必ずストレスを抱えています。家庭内で感情を抑えられず暴言や暴力を繰り返す子の診察では、診察中に母と子がお互いのことを責め合う場面を見ることが少なくありません。時に喧嘩のように言い争うこともあり、そんな時はどうしたらいいか悩むとともに、悲しい気持ちになってしまいます。人はなぜ喧嘩をするのでしょうか。

僕の人生の師匠ブッダは、喧嘩をやめる方法についてこう言いました。

“実にこの世においては、怨（うら）みに報いるに怨みをもってしたならば、ついに怨みのやむことがない。怨みを捨ててこそやむ。これは永遠の真理である”

怨みは怨みを招き、それは連鎖し続けるのです。喧嘩をやめるには相手への怨みの気持ちを捨てるしかありません。とはいえ、外来で真理を説いても問題は解決しそうにありません。仕方がないので最近の僕は“喧嘩するのも好きのうち”、と考えるようにしています。大人同士の喧嘩は別ですが、小児科医が扱う親子喧嘩では、お互いが少なからず相手を思い、相手に認めて欲しいと願い、そして必ず相手のことが好きだと信じている（信じたい）からです。そうして二人の話を聴きながら、仲直りの手伝いをするのが僕の仕事なのです。皆さん、隣人を愛しなさい。ナンチャッテ。

最新の情報は飯塚病院ホームページよりご覧ください。

また、小児科・小児外科の詳しいご紹介や診療実績は「診療科のご紹介」をご覧ください。

外来担当表



小児科のご紹介



小児外科のご紹介



外来診療担当表

2024年1月11日現在

※診療科部長

一般外来： 予約・紹介状必要		月	火	水	木	金
小児科	初診	荒木潤一郎 嘉村拓朗 交代制 [山木勇人 笹栗 誠]	神田 洋 大矢崇志 坂口万里江 田中祥一朗	坂口万里江 廣瀬彰子	坂口万里江 田中祥一朗 山木勇人 笹栗 誠	坂口万里江 田中ゆかり 交代制 [松行圭吾 田中友規]
	再診	岡松由記※ 荒木潤一郎 嘉村拓朗 交代制 [山木勇人 笹栗 誠]	神田 洋 大矢崇志 坂口万里江 田中祥一朗	岡松由記※ 坂口万里江 廣瀬彰子 田中ゆかり	坂口万里江 田中祥一朗 山木勇人 笹栗 誠	岡松由記※ 坂口万里江 田中ゆかり 交代制 [松行圭吾 田中友規]
小児外科	初診	竜田恭介※	-	竜田恭介※	-	竜田恭介※
	再診	竜田恭介※	-	竜田恭介※	-	竜田恭介※
専門外来：予約・紹介状必要						
新生児外来	-	神田 洋	-	-	-	-
神経発達外来	近藤里香子 大矢崇志	-	-	-	近藤里香子 大矢崇志	-
循環器外来	-	寺町陽三	平田悠一郎 (第2,4)	-	-	-
内分泌外来	-	-	古賀木綿子 (第2)	-	八ツ賀秀一 (第1または第2) 西岡淳子 (第4)	
腎臓外来	-	荒木潤一郎	-	-	荒木潤一郎 (第3)	
血液内科外来	-	-	-	-	安藤昭和 (不定期：第4)	
アレルギー外来	-	-	田中祥一朗	-	-	
1ヶ月健診(金曜午後)	-	-	-	-	担当医	
福岡県予防接種 センター事業	-	-	-	-	担当医	-